

# 決 済 動 向

— 平成 5 年 10 月 —

(平成5年12月10日)

## 1. 日本銀行における決済関連計数

10月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比+4.0%）、金額ベースでも326.8兆円（前年比+11.5%）とともに前年比がプラスになった。金額ベースの内訳をみると、当座預金振替は、291.0兆円（前年比+12.6%）となったほか、民間の集中決済制度にかかる資金決済は29.1兆円（前年比+8.2%）となった。

10月の国債の決済金額・件数をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、金額ベースで100.6兆円（前年比+40.5%）、件数ベースで3.5万件（前年比+46.8%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースでは3.5万件（前年比+0.3%）となった。金額ベースでは224.0兆円（前年比+12.0%）と、引き続き前年比増加基調にある。

10月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、金額ベースで5.1兆円（前年比+3.8%）、件数ベースで125.4万件（前年比+13.1%）となった。

10月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高6.3兆円（前年比△6.0%）、支払高6.9兆円（前年比+0.3%）となった。

## 2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、10月の手形交換高（東京手形交換所の交換高、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは42.7万枚（前年比+1.4%）、金額ベースでは10.5兆円（前年比△3.1%）となった。

10月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、金額ベースで7.3兆円（前年比+19.2%）、件数ベースでも330.9万件（前年比+14.2%）とともに前年を上回った。

10月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、金額ベースでは24.7兆円（前年比+4.5%）、件数ベースでも2.7万件（前年比+7.7%）とともに前年を上回った。

## 3. その他

10月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は9.4万契約（前年比2.1倍）、月末の建玉数量は77.0万契約（前年比+66.3%）と引き続き前年を上回った。

10月のSWIFTの総送信件数（月中合計）は、162.4万件（前年比+1.1%）となった。

(信用機構局)